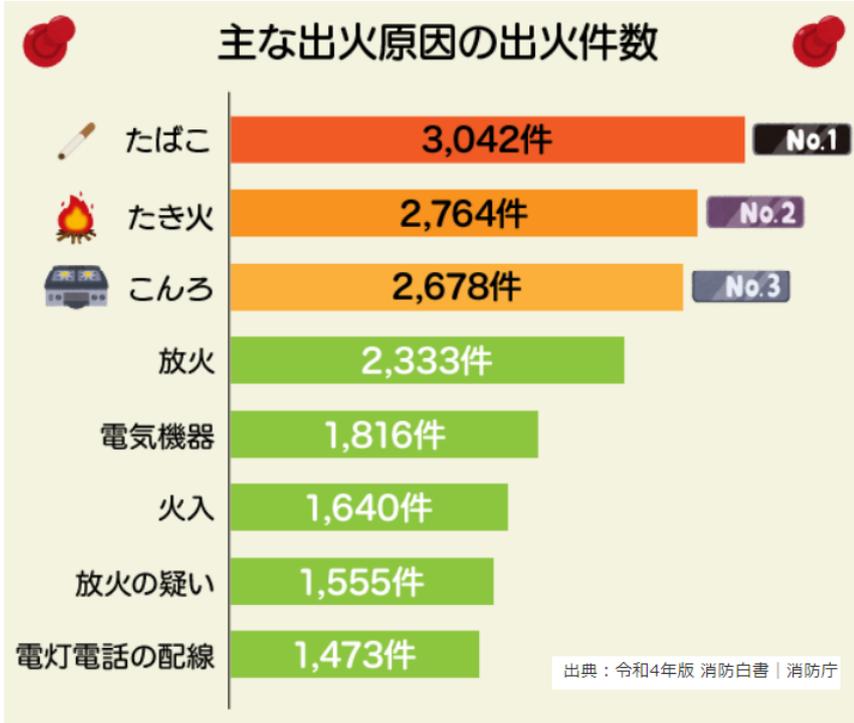


週刊 **タバコの正体**

タバコには火をつけなければ喫煙できません。そして吸い終われば必ず消火を確かめないと火事の原因になることは誰でも知っています。ところが、下図のように出火原因の1位はタバコなのです。喫煙後に火を消さないで火事になる事がこんなに沢山あるなんて知っていましたか。消し忘れや確実に

消していない事があるのでしょうか。



Rakuten 保険の総合受付サイトから

そこで、タバコの火の不始末が火災になる現象を実験した様子を見て下さい。ごみ箱に消していないタバコを捨てても、すぐに発火しません。もともとタバコの火には炎が出ていないので、捨てた後も気がつきません。しかし、ごみ箱の中では煙がでない「無煙燃焼」が静かに広がり9分後に炎が発生しました。タバコの火は見た目にはわかりづらいので、消えたかどうか慎重に確かめる必要があるのです。

**ごみ箱からの火災**



郡山消防 YouTube から

全国に3000万人以上いると推計されている喫煙者が毎日何本ものタバコに火をつけているのですから、消し忘れや消し損ねをゼロにするのは困難だと思われます。

もし仮に皆さんが喫煙者だったとしたら、一生完璧にタバコの消し忘れをしない自信が持てるでしょうか。

自分や周りの人の健康を守るためにはもちろんですが、社会的な損害を出さないためにもタバコを吸い始めてはいけません。

産業デザイン科 奥田恭久